

今週のメニュー

[トピックス](#)

塩ビものづくりコンテスト2011

- 塩ビ素材がいろいろな縁で結ばれる試みがスタート -

[随想](#)

ナノと予防原則（連載41）

金沢工業大学・(独)科学技術振興機構 上野 潔

[お知らせ](#)

【NEW】日経住まいのリフォーム博2010 出展のご案内

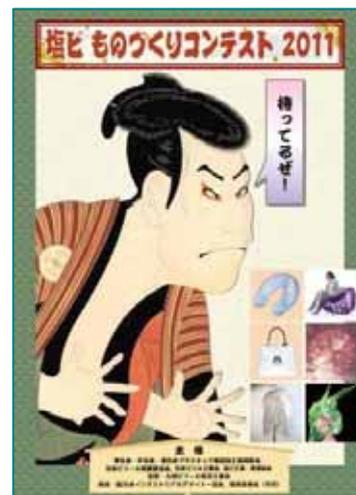
[編集後記](#)

トピックス

塩ビものづくりコンテスト2011

- 塩ビ素材がいろいろな縁で結ばれる試みがスタート -

10月20日に、「塩ビものづくりコンテスト」がキックオフしました。主催者は、日本のものづくりを支えている「東日本プラスチック製品加工協同組合」、「中日本プラスチック製品加工協同組合」、「西日本プラスチック製品加工協同組合」、塩ビ製品を取り扱っている商業団体の「日本ビニール商業連合会」、その素材加工を扱っている「日本ビニール工業会」と「GF部会」、原料の塩ビに関わる当協会で、協賛に「九州ビニール製品工業会」、後援に「(社)日本インダストリアルデザイナー協会」と経済産業省(予定)の支援を頂き、業界としては画期的な原料から加工・製品・流通まで含めたチャンネルでスタートしました。



今回のコンテストの主旨は、長い歴史を持ち、その優れた特長と有用性により我が国をはじめ広く世界に普及し、生活用品等として幅広く愛用されている塩ビ製品を採り上げ、その特長を生かして魅力ある製品開発を促すことで、関連産業の活性化と発展に寄与すると考えたことです。コンテストでは、塩ビの特長(機能・素材・環境特性)を活かし新たな発想と夢に溢れたアイデアを募集・選出し表彰するとともに、特に優秀と認められた作品に対して「塩ビ大賞」を贈呈します。

このコンテストは、当協会のHPに黒河内デザイナーから問合せがあったことがきっかけです。服飾デザイナーが軟質塩ビ素材を用いて作品を製作されていたところ、その環境性を含めた素材の性能について協会に問合せされました。分野の違う方からの質問とその作品に新鮮な驚きを感じ、その縁に感謝しています。当時、彼女はロンドンに居られることが分かり、4月末に初めてお目にかかりました。その会話の中で、デザイナーとのコラボレーションによって、塩ビの新たな可能性が見出されることに気がつきました。デザイ

ン事務所を立ち上げ、作品の中に塩ビを用いたバッグやアクセサリー等を考えていたことから、試作加工の支援を(株)三洋様をお願いして対応頂きました。



黒河内さんデザインの透明な塩ビで作ったバッグ

(左：トート型バッグ、右：クラッチバッグ)

[\(クリックで拡大\)](#)

一方で、日本ビニル工業会が日本ビニール商業連合会、東日本プラスチック製品加工協同組合と定期的に行っていた塩ビ業界の連絡会に参加する機会があり、業界の活性化に向けた取り組みを相談したところ、ご賛同を得て、この話が急展開しました。先ほどのデザイナーとの出会いがあったことから、この「塩ビものづくりコンテスト」の開催に向けた話し合いが行われ、実行委員会と具体的な実現に向けた運営会議が編成されました。

今回のコンテストで、ものを作りたい方、ものを売りたい方、ものを買いたい方が結ばれ、その縁で、塩ビ製品に新たな風が吹き込まれることを期待しています。古くて歴史ある塩ビ製品があらたに生まれ変わる機会になればと願い、“New PVC in Tradition for our Life”と掲げました。是非、皆さんの積極的な参加をお願いします。(了)

「塩ビものづくりコンテスト」[応募要領](#)

随想

ナノと予防原則（連載41）

金沢工業大学・(独)科学技術振興機構 上野 潔

欧州 RoHS の改正が進められています。現在進行中のことですし、欧州内外のロビー活動による駆け引きも活発のようですから最終的にどうなるかは、この原稿を書いた時点（2010年8月）ではわかりません。主な改正ポイントとして、

ナノシルバー（ナノ銀）及びカーボンナノチューブの禁止。

製造者追加業務（ナノ材料のラベリング、暴露の可能性がある場合は届出）。

オープンスコープが承認された。（除外対象：業者による設置の必要な大型機器・工作機械、移動手段、再生可能エネルギー技術 従ってソーラパネル・ヒートポンプは、除外）

消耗品、アクセサリー、ケーブル類は対象とする。

適用除外項目の期限を指令施行後4年に設定。（但し、測定器・医療機器は同8年）

適用除外項目が取下げられた後の猶予期間を18ヶ月に設定。

などの項目が挙げられています。

関連業界の方々にとっては今後が気になるところですが、ここで取り上げるのはナノ材料の事です。ナノ技術は、ナノ材料そのものの開発、製品への応用、そしてリスク評価までの全領域について、世界中が開発にしのぎを削っているのは皆様もご承知のとおりです。従って未解決のことも沢山あるはずですが、良いことばかりではなく、環境や人体などへの影響も研究対象になることでしょう。

さて、欧州 RoHS の改正案では、この時点でナノシルバーやカーボンナノチューブの使用禁止やラベリングに触れています。現在開発が進行中の材料に対してであっても使用の規制をかける方式は、化学物質に対する予防原則の考え方からすると当然との見方もあります。環境影響や人体への影響が懸念される材料は、現時点で因果関係がハッキリしなくても「取り敢えず使用を禁止」して、研究結果が判明した時点で改めて使用の是非を考えると「予防原則」の考え方には、過去の公害病などへの対応を見ると賛同する意見も多いのです。

しかしナノ技術を今後のブレークスルーにしようとする材料立国である日本にとって、これは看過できない問題です。

残念ながら欧州の RoHS 規制による化学物質の使用禁止は必ずしも素直に受け取れない側面があるからです。鉛の使用禁止などは、世界中の電気電子製品に対して鉛フリーハンダを広めただけで、鉛蓄電池など大量の鉛使用がなくなったわけではありません。環境の花形である HV 車（ハイブリッドカー）にさえ、予備電池として鉛蓄電池が搭載されています。大気中に鉛を撒き散らすガソリンへの鉛添加の禁止は当然だったのですが、それは欧州 RoHS 規制の成果ではありません。カドミウム、六価クロム、水銀、2 種類の臭素系難燃剤の追放は、結果としてリスク評価が十分でない代替材料への置き換えが進んでいるだけになっているのではないのでしょうか。

現在開発中のナノ材料の使用が RoHS で規制されると世界中の電気電子メーカーは、RoHS 規制を満足する「環境に優しいナノフリー製品」を作り出し、ナノの開発を事実上停止させてしまいます。誰が喜ぶのでしょうか？

残念ながら日本には、欧州や米国で材料の規制が提案されると、その材料の研究開発までも急停止してしまう傾向があるのです。分野は異なりますが、遺伝子組み換え種子やクローン動物の開発も、もはや日本では話すことすらタブーになっているようです。

モントリオール議定書で特定フロンが規制されると、それを拡大解釈して急速にフッ素系冷媒の研究開発が途絶えたのは日本だけでした。欧米では、その後も堂々とフッ素系化合物や冷媒の研究開発を継続していたのです。日本は脱フッ素自然冷媒の研究開発では特許件数も世界をリードしていましたが、ふっと気がつくと、欧米メーカーに新たなフッ素系冷媒の特許を握られていたのです。

ナノ技術開発は、安全性や経済性を含めて現在進行中の最先端技術です。仮に欧州 RoHS で取扱いが禁止されても、日本は研究開発と製品化の速度を緩めてはいけません。民間企業は国が研究に消極的になると独自に開発を進めることが困難になります。RoHS は欧州の規制で日本への規制ではありません。戦略を無視した自己規制が起こらないよう新材料の研究開発に対する国の対応が注目されることです。（了）

前回の「[評論家](#)」(連載 40) は、下記からご覧頂けます。

お知らせ

【NEW】日経住まいのリフォーム博2010 出展のご案内

「比べて選ぶ!」「聞いて安心!」「見て実感!」理想の住まいを見つける3日間。『日経住まいのリフォーム博2010』が以下の通り開催されます。

塩ビ工業・環境協会は、リフォーム関連製品・サービスゾーンに『塩ビミニハウス』を展示し、塩ビサイディングと住宅エコポイントで注目の樹脂窓をPRします。

- ・日 時 : 2010年11月12日(金)~11月14日(日)
10:00~17:00
- ・場 所 : 東京ビッグサイト 東4ホール
(VECブース番号:108)
- ・主 催 : 日本経済新聞社
- ・入場料 : 無料
- ・[日経住まいのリフォーム博2010](#)

編集後記

いよいよプロ野球も日本シリーズを残すだけとなり、シーズンが終わるスポーツもあれば、スケートのグランプリも始まるなどスポーツの秋真っ只中といったところです。秋といえば、もうひとつ、芸術の秋があります。トピックスで紹介した“塩ビものづくりコンテスト”もそんな時期に合わせた企画です。塩ビの特性を活かしたユニークで役立つアイデアが出ることを期待しています。(HI)

関連リンク

[メールマガジンバックナンバー](#)

[メールマガジン登録](#)

[メールマガジン解除](#)



編集責任者 事務局長 東 幸次

東京都中央区新川 1-4-1

TEL 03-3297-5601 FAX 03-3297-5783

URL <http://www.vec.gr.jp> E-MAIL info@vec.gr.jp